

秋季町民野球大会

9月22、29日に芝山公園野球場にて秋季町民野球大会が行われました。決勝戦は「小池レイダース」と「鬼武者」の試合で、1対7で鬼武者が優勝しました。



小学生が一致団結 山武郡市小学校球技大会

山武郡市内の小学校児童が集い、球技を通して、心身の発達を促すことや、健康促進と体力向上を目的として10月2日に開催された山武郡市小学校球技大会。種目はソフトバレーボールで、芝山小学校は東金アリーナを会場に5チームトーナメント戦を行い、男子は2試合中2試合勝利し優勝、女子は3試合中2試合を勝利しました。



試合結果 ※赤色が芝山男子

南郷 VS 芝山
0-2(14-16 9-15)
芝山 VS 片貝
2-0(15-12 15-12)

女子

芝山 VS 南郷
2-0(15-12 15-12)
豊成 VS 芝山
2-0(15-9 15-6)
緑海 VS 芝山
0-2(10-15 9-15)

成田空港の更なる機能強化における歴史資料・地域資料の調査・保全の取組について

芝山町教育委員会では令和元年度から、しばやま郷土史研究会(以下「郷土史研究会」といいます)と共同で移転地区に残る石造物などの調査を実施してきました。また令和3年度には移転地区の景観や祭事、年中行事の記録のため、一般財団法人地域創造の助成を受け、映像記録「ムラの暮らし」成田空港第三滑走路用地移転地区」を作成しました(芝山町公式YouTubeチャンネルで視聴可能)。

しかしコロナ禍で祭事の中止などもあったため、令和5年度に再度撮影を実施しました。

このような取組を行ってきましたが、その一方で、各家で保存されている古文書や民具などの資料、寺社や古い民家などの歴史的な建築物、集会所で保管されている区有文書など、調査・保全が進んでいないものも多くありました。教育委員会としてもこれらについて対策が必要だと考えておりましたが、専門的な知識やネットワークもなかなか進めることができた

せんでした。

そのような中、当町出身の長野大学教授・相川陽一氏(日本近現代史専攻)から調査・保全の協力の申し出をいただきました。相川氏は現在長野県在住で、生まれ故郷の状況は知っていてもコロナ禍のため芝山町に戻ってくるのができなかったそうです。コロナ禍が明け令和5年の秋頃に帰省したところ、すでに移転が進み、地域が大きく変わっている現状を知り、千葉大学や国立歴史民俗博物館などの研究者と令和6年5月26日に「北総地域資料・文化財保全ネットワーク」(以下「北総ネット」といいます)を立ち上げました。

北総ネットでは、次の5点を調査することにしました。

- ①家や土蔵などにある古文書や近現代の資料の保全
- ②集会場や公民館などにある地域資料(区有文書)の保全
- ③歴史的な建造物(屋敷、土蔵、納屋、寺社など)の図面作成
- ④石造物・石碑などの現状記録

⑤歴史的な景観の記録保存

また北総ネットのメンバーは町内の土地勘のない人が多いため、教育委員会と郷土史研究会が地域との橋渡し役となり、区長との調整や調査する建造物の選定をしました。7月には北総ネットメンバーが実際に地域へ入り、区長への挨拶や調査の下見を行いました。

調査は9月2日〜6日に実施しました。研究者や学生など延べ80人が各班に分かれ調査を実施しました。



▲建築班の作業風景

建築班では、中郷地区にある郷土史研究会副会長の自宅を調査しました。この建物は副会長の曾祖父の代に建てられたもので、B滑走路建設に伴い現在地へ集団移転した際に移築したものです。建物の計測や副会長への聞き取りを行って図面を作成しました。

石造物班は、町史編さん時に調査範囲外となったもの、調査から漏れたもの14点の記録を行いました。



▲石造物班の作業風景

古文書班は、集会所に残る資料を調査しました。目録を作成し、資料の「見える化」を行いました。



▲古文書班の作業風景

相川氏は「目録を作成することで資料のルーツが分かるようになり、住民が子や孫へ自身のルーツを話せるようになります。このように、郷土を愛する気持ちを持つきっかけとして資料が重要だと考えています。自分たちは研究者の立場でできることを尽くしたい」と話してくれました。

今回実施した調査は、住民の皆さんの協力もあり予定通り進めることができました。しかし滑走路建設は待たなしに進んでいきます。教育委員会はこれからも北総ネットや郷土史研究会と協力し調査を進めていきます。

立地適正化計画(案)に関する 住民説明会を開催します

企画空港政策課
都市計画係 ☎77・39009

●立地適正化計画について

立地適正化計画は、都市計画マスタープランの考え方を基に、住居や商業・福祉・医療等の施設がまとまって立地し、利便性の高い公共交通で結ばれた「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方を踏まえ、これからの都市づくりの方針などを示す計画です。

●芝山町立地適正化計画(案)について

本町を取り巻く社会環境が大きく変化しており、成田空港の更なる機能強化や今後の圏央道の全線開通などによって、まちづくりに大きな影響が及ぶことが予想されます。

これを受け、まちづくりに係る基本的な方針を示す計画となる「立地適正化計画」を令和5年度から令和6年度の2カ年で策定し、令和7年度での公表を予定しています。

計画(案)に関する住民説明会を下記日程のとおり開催させていただきますので、お忙しい中とは存じますが、住民の皆さまのお誘い合わせの上、ぜひ説明

会にご参加くださいますようお願いいたします。

○日時 12月1日(日)

午前10時〜正午(午前9時30分受付開始)

○場所 役場南庁舎1階研修室

○主な内容 芝山町立地適正化計画(案)について

●パブリックコメントの実施について

芝山町立地適正化計画(案)に対するパブリックコメントを実施します。

○施策案の名称 芝山町立地適正化計画(案)

○施策案の内容 芝山町としての誘導区域や防災指針の方向性、誘導施策について

○資料の閲覧方法

①町ホームページ

②芝山町役場本庁舎1階

企画空港政策課都市計画係窓口

○意見の提出期間

11月26日から12月25日まで
※窓口での閲覧・提出は土日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで

○意見の提出方法

窓口、郵便(消印有効)、ファクシミリ、電子メールによる提出

○意見の提出先 都市計画係